

長崎県感染症発生動向調査速報（週報）

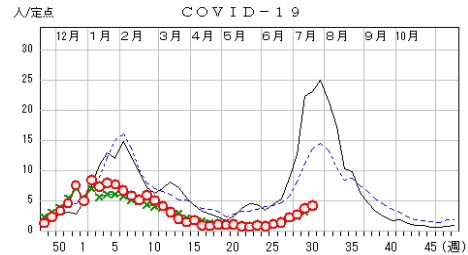
2025年第30週 2025年7月21日（月）～2025年7月27日（日）2025年7月31日作成

☆定点※報告疾患（定点当たり報告数の上位3疾患）の発生状況

（1）新型コロナウイルス感染症

第30週の報告数は217人で、前週より31人多く、定点当たりの報告数は4.25であった。
年齢別では、70～79歳（32人）、40～49歳（30人）、10歳未満（27人）の順に多かった。

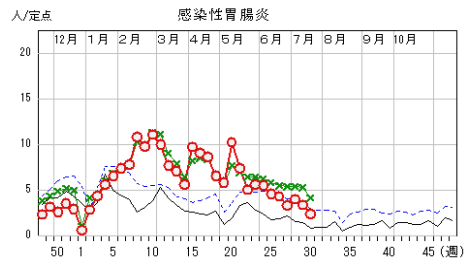
定点当たり報告数の多い保健所は、佐世保市保健所（6.43）、県南保健所（6.40）、県北保健所（6.33）であった。



（2）感染性胃腸炎

第30週の報告数は74人で、前週より28人少なく、定点当たりの報告数は2.39であった。
年齢別では、1歳（18人）、2歳（9人）、6歳（8人）の順に多かった。

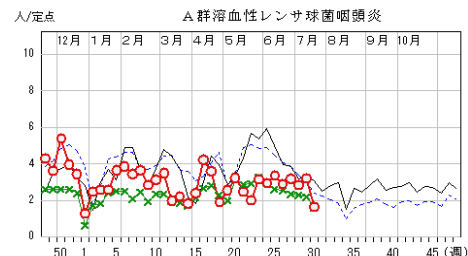
定点当たり報告数の多い保健所は、西彼保健所（6.67）、県央保健所（5.20）であった。



（3）A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

第30週の報告数は51人で、前週より45人少なく、定点当たりの報告数は1.65であった。
年齢別では、6歳（12人）、10～14歳（7人）、7歳（6人）の順に多かった。

定点当たり報告数の多い保健所は、県南保健所（6.33）であった。



○—○ 当年（長崎県） — 前年（長崎県）
×—× 当年（全国） - - - 前年（全国）

※急性呼吸器感染症定点数：51、小児科定点数：31、眼科定点数：8、基幹定点数：12
（2025年第15週より定点数が変更されました）

☆上位3疾患の概要

【新型コロナウイルス感染症】

第30週の報告数は217人で、定点当たり報告数は4.25でした。地区別では、佐世保地区（6.43）、県南地区（6.40）、県北地区（6.33）は他の地区より多くなっています。県全体では6週続けて増加していますので、今後も動向に注意しましょう。

本疾患の主な症状は、発熱、咳、全身倦怠感等の感冒様症状で、主に飛沫感染や接触感染により感染します。場面に応じたマスクの着用や手洗い、換気、三密の回避などの基本的な感染対策に努めましょう。

【感染性胃腸炎】

第30週の報告数は74人で、定点当たり報告数は2.39でした。地区別にみると、西彼地区（6.67）、県央地区（5.20）は、他の地区より多くなっています。

本疾患は、細菌又はウイルスなどの病原微生物による嘔吐、下痢を主症状とする感染症です。原因はノロウイルスやロタウイルス、エンテロウイルス、アデノウイルスなどのウイルス感染による場合が主流ですが、腸管出血性大腸菌などの細菌が原因となる場合もあります。手洗いの励行とともに、体調管理に注意して感染防止に努め、早めに医療機関を受診しましょう。

【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】

第30週の報告数は51人で、定点当たりの報告数は1.65でした。地区別では、県南地区（6.33）が警報レベルの報告数となっています。

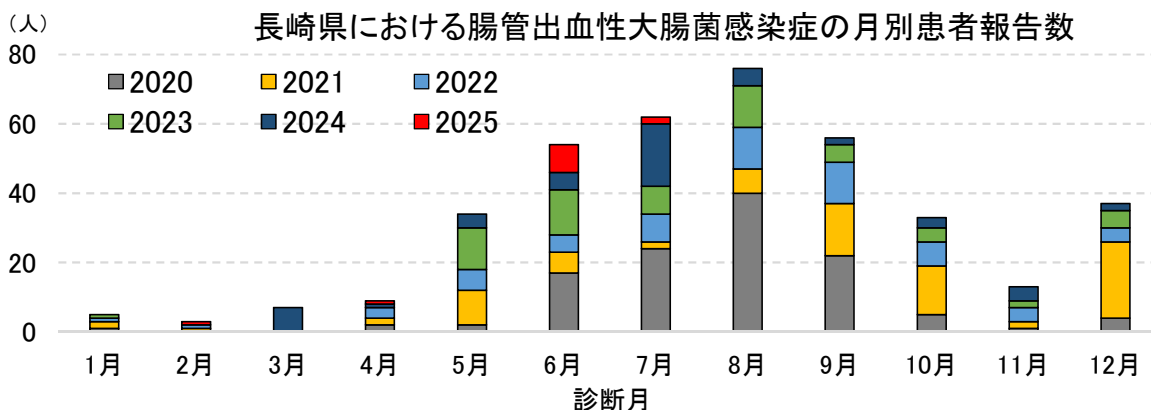
本疾患の好発年齢は5歳から15歳で、鼻汁、唾液中のA群溶血性レンサ球菌を含む飛沫などによってヒトからヒトへ感染します。また、食品を介しての経口感染もあります。潜伏期間は約1日から4日で、突然の発熱（高熱）、咽頭痛、全身倦怠感、時に皮疹もあります。症状がある場合は、早めに医療機関を受診するとともに、手洗いを励行し、感染防止に努めましょう。

☆トピックス：腸管出血性大腸菌感染症に注意しましょう

腸管出血性大腸菌感染症は、O157やO26をはじめとした「腸管出血性大腸菌」による感染症です。主な感染経路は、菌に汚染された食品や患者の便で汚染されたものに触れた手を介した経口感染です。2日から9日の潜伏期間の後、腹痛・水様性下痢・血便などの症状を呈します。無症状の場合もありますが、発症者の約6%から7%が、溶血性尿毒症症候群（HUS）や脳症などの合併症を起こし、時には死亡することもあります。特に、抵抗力が弱い小児や高齢者等は注意が必要です。

例年8月に報告が多い傾向にあります。次の点に気をつけて感染予防に努めましょう。また、症状があるときは速やかに医療機関を受診しましょう。

- 帰宅時やトイレ・オムツ交換の後、調理・食事の前には石鹸と流水で十分に手を洗いましょう
- 肉類を調理する際は十分に加熱しましょう
- 生肉を調理する際、器具は専用のものにするか、使用後すぐに十分な洗浄・消毒をしてから他の調理に使用しましょう
- 下痢症状のあるときは入浴は控え、シャワー浴または最後に入浴しましょう



☆トピックス：伝染性紅斑の報告が多くなっています

伝染性紅斑は、ヒトパルボウイルスB19による感染症で、小児を中心にみられる流行性の発しん性の病気です。両頬がリンゴのように赤くなることから、「リンゴ病」と呼ばれることもあります。約10～20日の潜伏期間の後、微熱やかぜの症状などがみられ、その後、両頬に蝶の羽のような境界鮮明な赤い発しん（紅斑）が現れます。続いて、体や手・足に網目状やレース状の発しんが広がりますが、これらの発しんは1週間程度で消失し、ほとんどは合併症を起こすことなく自然に回復します。一方で、これまで伝染性紅斑に感染したことのない女性が妊娠中に感染した場合、胎児にも感染し、胎児水腫などの重篤な状態や、流産のリスクとなる可能性がありますので、注意が必要です。

2025年第30週の定点当たり報告数は「1.26」で、前週より減少しましたが、地区別では長崎地区（3.17）、県央地区（2.40）、佐世保地区（1.00）、西彼地区（1.00）は警報レベルの報告数となっています。

感染経路は、飛沫感染や接触感染で、かぜ症状のある時期にウイルスの排出が最も多くなるといわれています。治療薬やワクチンがないため、感染予防が重要です。特に妊娠中の方やそのご家族ではかぜ症状がある方との接触をできる限り避け、手洗いやマスクの適切な着用など感染予防に努めましょう。

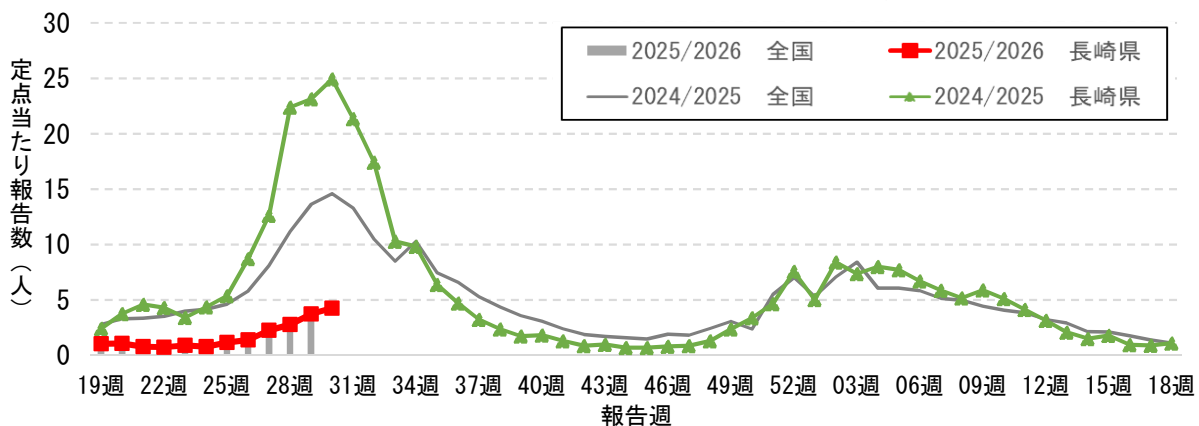
☆トピックス：新型コロナウイルス感染症に注意しましょう

新型コロナウイルス感染症の長崎県における第30週の定点当たり報告数は「4.25」で、6週続けて増加しました。地区別では、佐世保地区（6.43）、県南地区（6.40）、県北地区（6.33）が多くなっています。年代別にみると、70代（15%）、40代（14%）、10歳未満（12%）の順に多くなっています。

今後も場面に応じたマスクの着用や手洗い、換気、三密の回避などの基本的な感染対策に努めましょう。

詳細は長崎県感染症情報センターホームページ「新型コロナウイルス感染症」に掲載しています。

新型コロナウイルス感染症 定点当たり報告数推移



新型コロナウイルス感染症の保健所別報告数

	長崎県	佐世保市	長崎市	壱岐	西彼	県央	県南	県北	五島	上五島	対馬
報告数	217	45	44	3	15	34	32	19	2	17	6
定点数	51	7	11	3	5	8	5	3	3	3	3
定点当たり報告数	4.25	6.43	4.00	1.00	3.00	4.25	6.40	6.33	0.67	5.67	2.00

新型コロナウイルス感染症の年代別患者報告数

	10歳未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上
報告数(人)	27	19	19	23	30	22	22	32	23
報告割合(%)	12.4	8.8	8.8	10.6	13.8	10.1	10.1	14.7	10.6

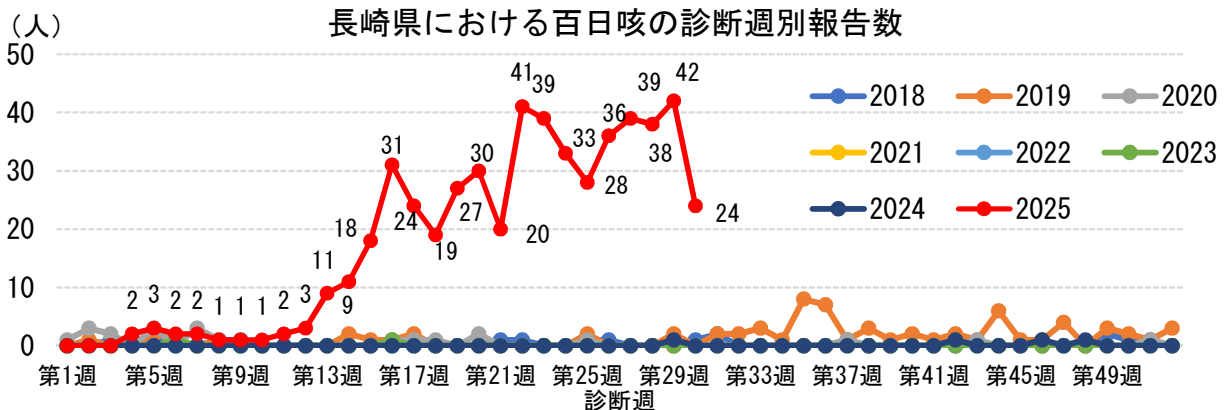
☆トピックス：百日咳の報告が多くなっています

百日咳は、主に百日咳菌の感染によっておこるけいれん性の咳発作を特徴とする気道感染症です。潜伏期は通常5～10日で、かぜ様症状で始まり、次第に咳の回数が増え程度も激しくなります。夜間の咳発作が多いことも特徴で、回復までに2～3か月かかることもあります。また、乳児では、肺炎、脳症を合併し、重症化することもあります。

2025年第30週には24件の報告があり、年代別では、10代（12人）および10歳未満（7人）が多くなっています。また、2025年第30週までの526件の報告においても、10代（262件、50%）、10歳未満（139件、26%）が多く全体の約8割を占めています。

感染経路は飛沫感染ですので、咳エチケット、手洗い、手指消毒で予防に努めましょう。

長崎県における百日咳の診断週別報告数



◆全数届出の感染症

2類感染症：結核 患者 男性（50代・1名、60代・1名） 女性（20代・1名）
 3類感染症：報告なし
 4類感染症：日本紅斑熱 患者 男性（70代・1名）
 5類感染症：劇症型溶血性レンサ球菌感染症 患者 女性（60代・1名）
 侵襲性インフルエンザ菌感染症 患者 女性（80代以上・1名）
 百日咳 患者 男性（10歳未満・7名、10代・4名、70代・1名、80代以上・1名）
 女性（10代・8名、40代・2名、50代・1名）

◆定点把握の対象となる5類感染症

(1) 疾病別・週別発生状況 (第25～30週、6/16～7/27)

疾患名	定点当たり患者数					
	25週	26週	27週	28週	29週	30週
	6/16～	6/23～	6/30～	7/7～	7/14～	7/21～
インフルエンザ	1.18	0.90	0.37	0.49	1.12	0.71
新型コロナウイルス感染症	1.16	1.39	2.24	2.76	3.72	4.25
RSウイルス感染症	0.16	0.87	0.74	0.39	0.33	0.26
咽頭結膜熱	0.55	0.65	0.71	0.52	0.20	0.32
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3.35	2.90	3.19	2.84	3.20	1.65
感染性胃腸炎	4.61	4.32	3.32	4.03	3.40	2.39
水痘	0.71	0.81	0.52	0.61	0.23	0.10
手足口病	0.26	0.42	0.39	0.58	0.27	0.32
伝染性紅斑（リンゴ病）	1.48	1.39	1.42	1.26	1.57	1.26
突発性発しん	0.26	0.32	0.48	0.61	0.37	0.39
ヘルパンギーナ	2.00	3.65	5.06	4.32	2.30	1.23
流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	0.03	0.03	0.03	0.10	0.03	0.06
急性出血性結膜炎	0.38	0.75	0.63	0.50	0.13	
流行性角結膜炎	2.50	3.25	2.75	2.00	1.38	1.13
細菌性髄膜炎	0.08		0.08		0.09	
無菌性髄膜炎			0.17	0.08		0.08
マイコプラズマ肺炎	0.08	0.08	0.92	0.17	0.45	0.42
クラミジア肺炎（ワム病は除く）						
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	0.08	0.08		0.08		

※2025年第15週（4月7日～4月13日）～

急性呼吸器感染症（ARI）	55.16	54.33	56.06	57.65	55.24	48.75
---------------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

(2) 疾病別・保健所管内別発生状況 (第30週、7/21～7/27) ※赤字：警報レベル、青字：注意報レベル

疾 患 名	定 点 当 た り 患 者 数（県・保健所管轄別）										
	県	佐世保市	長崎市	壱岐	西彼	県央	県南	県北	五島	上五島	対馬
インフルエンザ	0.71		1.73	0.33		1.00		0.33			2.33
新型コロナウイルス感染症	4.25	6.43	4.00	1.00	3.00	4.25	6.40	6.33	0.67	5.67	2.00
RSウイルス感染症	0.26		0.50		0.67			1.00	0.50		
咽頭結膜熱	0.32				1.33	1.00	0.33				
A群溶血性インフルエンザ菌咽頭炎	1.65	1.75	0.33		2.67	1.80	6.33	0.50		0.50	2.00
感染性胃腸炎	2.39	1.75	2.00	1.00	6.67	5.20	1.00	2.00			
水痘	0.10					0.20		0.50			0.50
手足口病	0.32	0.50	0.50		0.33	0.40		0.50			0.50
伝染性紅斑（リンゴ病）	1.26	1.00	3.17		1.00	2.40		0.50			
突発性発しん	0.39	0.50	0.17		1.00	0.40		2.00			
ヘルパンギーナ	1.23	1.75	1.50		0.67	2.20	1.00	3.00			
流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	0.06			0.50		0.20					
急性出血性結膜炎											
流行性角結膜炎	1.13		2.33				2.00				
細菌性髄膜炎											
無菌性髄膜炎	0.08					1.00					
マイコプラズマ肺炎	0.42	1.00	1.00			1.00					
クラミジア肺炎（わん病は除く）											
感染性胃腸炎（ロタウイルス）											
急性呼吸器感染症（ARI）	48.75	52.29	87.45	13.67	70.80	49.00	18.40	37.00	3.33	26.00	26.67